

The logo for DIGplus. It features the letters "DIG" in a large, bold, dark blue sans-serif font. To the right of "DIG" is a stylized orange cross symbol, and below the cross is the word "plus" in a smaller, dark grey sans-serif font.

特集 税務オペレーション部：DIG税理士法人の前線を支える、静かなプロフェッショナル

Client interview 株式会社 不動産の依頼所 株式会社 選家（SENKA）

DIGグループ本社 オフィスリニューアル

表紙：税務オペレーション部メンバー

Interview 数字の土台作りで

税務オペレーション部とは

社外報プロジェクト：以後「PJ」税務オペレーション部とはどんな部署でしょうか？

宮原) DIG 税理士法人の「前線を支える製造部門」として、記帳代行業務や相続税・贈与税の申告補助業務を担っています。お客様との直接のやり取りは行わず、税務コンサルティング部と分業する「製販分離」体制をとることで、集中して正確な業務に取り組める環境が整っています。私たちの仕事は、お客様の経営判断や提案のベースとなる「数字の土台」をつくること。縁の下の力持ちとして、プロ意識をもって取り組んでいます。

PJ) 製造部門として他の税理士事務所との違いはありますか？

宮原) 最大の特徴は、「製販分離」と「チーム制」の導入です。記帳などの入力業務と、お客様対応を明確に分けているため、業務に専念しながら品質と効率を追求できます。また、お客様ごとの入力マニュアルを整備しているため、急な休みや担当変更があっても他のメンバーがスムーズに引き継ぐことができます。業務が属人化しないよう、チーム内でノウハウや情報を共有し、「仕組みで品質を担保」する体制を築いています。さらに、AI や各種ツールの活用により、業務効率の最大化を図っています。「チームで支える」ことが、当部門の大きな強みです。



PJ) AI やツールを使って業務改善とは具体的にどのようなことでしょうか？

宮原) AI-OCR を使ってスキャン画像から文字情報を読み取り、仕訳作成などに活用しています。これにより、手入力作業を大幅に削減できています。また、業務全体の進捗管理には kintone を導入しています。月次経理では、優先順位が一目でわかる一覧表を kintone 上で管理し、メンバーが自身のタスクを把握・整理しながらスムーズに業務を進めています。さらに、効率化に成功した事例はチーム内で積極的に共有し、継続的な改善と仕組み化を推進しています。

私たちが大切にしていること、これから求められるもの

PJ) 他部門では税務コンサルティング部との連携が多いかと思いますが、心がけていることはありますか？

宮原) 当社の VALUE のひとつ、「ATI（圧倒的当事者意識）」を常に意識しています。これは単に「自分の仕事に責任を持つ」だけではなく、他部署やお客様の立場で考え、行動する姿勢でもあると考えています。例えば、税務コンサルティング部から経理依頼を受けた際には、「資料を回収していただき、ありがとうございます」と感謝を伝えるようにしています。仕事だから当然、ではなく、そこに至るまでの努力や背景に目を向けることが大切だと思っています。

PJ) 税務オペレーション部で特に大切にしていることはなんですか？

宮原) 「数字の正確性」「実務スキル」「スピード感」はもちろん大切ですが、もう一歩踏み込んで、“この資料で相手に本当に伝わるか？”という視点を持つようにしています。たとえば、試算表ひとつにしても「これでお客様が正しく経営状況を把握できるだろうか」と考える。それが見えない相手への思いやりであり、品質を支える信念です。

経営を支える DIG 税理士法人

DIG 税理士法人

税務オペレーション部 部長 宮原 久美子

PJ) 時短勤務の方も多いと思いますが、働き方についてはどうでしょうか？

宮原) 全社的に共通していることではあるのですが、非常に柔軟な働き方が可能です。特に税務オペレーション部は子育て中の方も多く、正社員でも6～8時間勤務が選べるほか、フレックスタイム制や在宅勤務も導入されており、生活スタイルに合わせた働き方が実現できます。通勤時間を自己投資に使えるなど、時間の有効活用がしやすい環境になっています。

PJ) やりがいを感じる部分や魅力ってなんだと思いますか？

宮原) やりがいは人それぞれですが、私は「限られた時間内で、美しく整った試算表が完成した時」に達成感を感じます。業務範囲が広いので、どんどん新しい仕事を任せてもらえる環境であり、自身の成長を実感しやすい点も魅力です。

PJ) これからの内勤業務に求められるスキルはなんでしょう？

宮原) 今後の内勤業務に求められるスキルは、AI ツールをうまく活用できる力だと思います。手入力を減らし、空いた時間を「内容の精度確認」や「税務・会計の知識を増やすこと」に使う意識が求められます。また、拠点が離れていることも多いので、チャットや電話を活用したコミュニケーション力も非常に重要です。

今後の展望と読者へのメッセージ

PJ) 今後の課題や注力してきたいことを聞かせてください。

宮原) お客様のニーズに応えつつ、社員のライフワークバランスを大切にすることが、これからの大きな課題だと感じています。今後さらに注力したいのが AI やツールの活用です。手作業を限りなくゼロに近づけることで、人にしかできない判断や確認に時間をかけられるようになる。それは結果的に、業務の品質向上と労働時間の最適化の両立につながります。働きやすさと成果のバランスがとれたチーム運営を目指して、今後も進化を続けていきます。

PJ) 最後に読者にメッセージをお願いします。

宮原) 私たち税務オペレーション部は、お客様や社内の皆さんを「数字の力」で支えるチームです。一見地味に見える仕事かもしれませんが、正確な数字なくして良い提案はできません。人と AI が協働しながら、これからもより良い業務の形を追求していきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします！

DIG 税理士法人 税務オペレーション部 部長 宮原 久美子

大学卒業後、大手生命保険会社での営業職を経て、複数の民間企業で事務職に従事。

2018年に税理士法人アーリークロスに入社。現在は DIG 税理士法人 税務オペレーション部の部長として、経理代行業務や申告書作成業務を中心に、多様な業種・規模のクライアント対応を行う。社会保険労務士の資格を活かし、実務現場目線での業務改善に取り組んでいる。





税務オペレーション部

DIG 税理士法人の前線を支える、静かなプロフェッショナル

製販分離の製造部門

DIG 税理士法人の「記帳代行業務」「相続税・贈与税申告書作成補助業務」では、入力部門とお客様対応部門をわける「製販分離」体制をとっており、税務オペレーション部はその入力部門です。

お客様との直接のやり取りがないので、業務に集中することができますが、お客様対応部門（税務コンサルティング部）との連携は必須です。

業務を進めるうえで大切にしていることは

- ①知識、実務スキル、スピード、正確性
- ②常に業務効率化を追い求める
- ③期限内に処理を終わらせる

お客様に最適な支援や提案をできるよう、
税務オペレーション部はしっかりと数字の土台作りを行っています。



業務内容

経理代行業務

- クラウド会計ソフトへの仕訳入力
- 決算書の作成
- 法人税・所得税等の申告書作成業務
- 年末調整や確定申告の対応

相続税・贈与税申告書の作成補助業務

- 不動産や株式などの財産評価
- 資金移動表の作成
- 相続税申告書や遺産分割協議書の作成補助
- 市役所や税務署等との連絡

税務オペレーション部の特徴

1. チーム制（記帳代行業務）

チーム単位でお客様を担当しています。月ごとに別のメンバーが経理をやることで、属人化を防止しています。

また、誰がやっても同じレベルのものができるように指示書を作成しています。担当制ではありませんので、急なお休みでも業務調整が可能です。複数のお客様の経理に携わることができるのでスキルアップにもつながります。



2. 紙資料はすべてデータ化してペーパーレス

郵送で届いた資料をスキャンするためのチームがあります。スキャンルールを事前に決めておくことで、その後の処理をスムーズに進めることができます。毎週定例 MTG をしており、資料受入れの仕組みづくりを進めています。

3. クラウド会計ソフトに連携可能な IT ツールを活用して効率的な業務

いかに手を動かさずに業務を進められるかを常に模索しています。IT ツール活用でうまくいった事例を勉強会等で共有しています。

4. 業界未経験でも活躍できる可能性

会計事務所経験者が少ないのですが、その代わりにマニュアルや研修制度が充実しています。

また、教えあうのが当たり前という文化があり、例えば、たまたま隣に座った人（フリーアドレスを導入）や社内のグループチャットで質問すれば誰かがアドバイスをくれます。

こんなツールで効率化してます

●文書管理ソフトでペーパーレス

社内の業務フローはデータでチェック

データ上で文書を束ねる、付箋をつける、✓マークをいれる、書き込みをする等

● AI-OCR

画像データからテキストを読み取って文字変換・抽出し、データ入力作業を自動化

● Excel データ → 仕訳変換

仕訳変換変換ソフトで Excel データから仕訳を自動生成、そのままクラウド会計ソフトへ連携

●資料収集 RPA

不動産の財産評価に必要な資料やサイト URL（路線価図、登記簿謄本、Google ストリートビュー等）を RPA で取得

●フイック

上場株式や投資信託の課税時期の相続税評価に必要な株価や解約価額を取得

●陰地名

不動産の公図や地積測量図を読み込み、間口距離・奥行距離・不整形地率を測定

人と AI の協働

DIG 税理士法人では、先進的な IT ツールを積極的に取り入れています。これにより、業務のスピードや効率は格段に向上しますが、最終的な確認・判断には必ず「人の目」を通す体制を徹底しています。

膨大なデータの処理は AI に任せつつ、専門知識と経験を持つスタッフが丁寧にチェックすることで、正確性と安心の両立を図っています。

単なる自動化ではなく、“人と AI の協働”による新しい業務のかたちを、これからも追求していきます。



「依頼型」で選ばれる不動産のつくり方



Q1. ご経歴と、沖縄で起業するまでの歩みを教えてください。

福本：建築の専門学校を経て不動産業界へ。大阪で賃貸仲介・売買仲介を経験し、少人数の会社が50～60名規模に成長する現場を見てきました。沖縄では地場会社で店長を務め、2013年に独立して「不動産の依頼所」を設立。いまは「売り込みより寄り添う営業」に軸足を置いています。

Q2. 社名「不動産の依頼所」には、どんな狙いが？

福本：「あのマンションが欲しい」という指名買いの相談から生まれました。対象マンションにチラシを直接投函し、本文はお客様に「想いの作文」を書いてもらう。——「無いものを探して売る」依頼型の起点です。沖縄では前例のないやり方でした。

Q3. 「営業しない営業」とは、具体的にどういう姿勢ですか。

福本：メリットより先にデメリットを伝えること、そして家族の意思決定者（多くはお母さん）に寄り添う導線づくりです。赤ちゃん連れでも入りやすいよう、「図書館のような」店の雰囲気や月例イベントでコミュニティを育てています。

Q4. いちばん反響の大きい取り組みは？

福本：「WALK600」ですね。預かった物件の半径600m全域に、足で配るポスティングを無料で行います。成約の78%が半径600m内、その35%は「まだ探していなかった層」。だから「毎月12万部以上」を投下し、近所の未顕在層に届けるんです。

Q5. 売却を支える現場の工夫は？

福本：空室のお掃除・換気やカビ対策（除湿剤設置）を無料で実施します。住みながらの方には片付けや外回り清掃もお手伝い。建物・内装・換気など「暮らしの知識」まで踏み込むのが当社の基本で、10年後も「ありがとう」と言われる取引を目指しています。

Q6. 相続相談の入口として話題の「売らない査定」とは？

福本：営業をかけない前提の価格評価です。「売る予定はないけれど、価格だけ知りたい」というニーズに応えます。相続や将来の分け方の検討など、相談の入口を広げる役割。商標登録も取得しています。また当社サイトからも受付できます。

Q7. 「買取60」はどんなときに効きますか。

福本：当社が買取後、最大60日間は無料で住み続けられる仕組みです。買い替え時の仮住まい費用や荷物一時預けの負担を抑え、段取りの余裕を提供します。「時間のストレス」を解くサービスだと思っています。

Q8. 営業方針についてお聞かせください。

福本：3年で9店舗まで広がりましたが、人件費の肥大や幹部の同時離職が重なり今年3店舗へ再編しました。テレビCMを8年間継続した結果認知が高まり、「寄り添い営業」に全社で舵を切りました。手数料をいただくのは私たちなのに、「ありがとう」と言ってもらえる関係をもう一度、徹底して作り直したんです。

Q9. 代表ご自身は「現場に立つトップ」だそうですね。

福本：はい。自分で歩き、接客もする。経営と現場の距離を縮め、同じ目線で課題を捉えることを大事にしています。



Q10. グループ会社「選家 (SENKA)」の役割は？

福本：那覇・鏡原の女性スタッフだけの不動産店です。「しつこい営業はしない」を掲げ、絵本 200 冊超の「ライオンの森図書館」を併設。英会話、ベビーマッサージ、食育など無料講習も不定期で実施し、「買わない人」も歓迎するコミュニティ拠点にしています。また、SNS (Instagram) に力を入れたり、琉球キングスの応援や LINE 査定など、地域活動とデジタルの両輪で接点を増やしています。



Q11. 大阪と沖縄、営業の手触りはどう違いますか。

福本：大阪は「営業することが営業」。沖縄は「営業しないことが営業」。最初にデメリットを明かすことで構えが溶け、相談の質が上がる実感があります。結果、紹介が自然と増えるんです。

Q12. 今後 3 年間の計画はありますか？

福本：選家は「スターバックス級」の大型店を自社ビルで。売上 5 億円、スタッフ 10 名体制を目標にします。依頼所は、コンビニ跡地など小商圈モデルでエリアごとに 3 か所、各 10 名のチームを想定。相続向けの「売らない査定」を軸に、「相談→信頼→紹介」の循環を強くしていきます。

Q13. 代表の私生活と、仕事への影響についても教えてください。

福本：腕時計のヴィンテージ収集は趣味ですが、資産性と換金性の視点で投資の勉強にもなります。週 3 日のウォーキングや愛犬の散歩は頭の整理に最適です。日々の体調管理が、「営業しない営業」の粘りを支えています。



Q14. 最後に、読者にメッセージを。

福本：「まずは相談だけ」でも大歓迎です。メリットもデメリットも正直にお伝えし、「隣で一緒に考える」のが私たちの役目。沖縄らしい距離感で、10 年後も「ありがとう」と言われる取引を積み上げていきます。

売らない査定

- ・ お家を売るつもりはないけど、売れる金額だけ知りたい。
- ・ 相続予定で、参考に金額を知りたい。
- ・ 将来もらう予定の不動産を兄弟で分けるからアドバイスがほしい。
- ・ 営業されるのが苦手。

売らない査定は、**相談のみでもOK!**

査定・相談ともに無料です。

お気軽にお電話ください♪



お問合せはこちら♪

総合受付窓口 TEL 098-917-1490

会社・店舗情報

株式会社 不動産の依頼所

(浦添本店／那覇新都心支店／那覇泊支店)

代表取締役社長：福本隼人

主なサービス：WALK600／売らない査定／

買取 60(fudousannoairai.com)

株式会社 選家 (SENKA)

(那覇市鏡原町 6-5 1F)

女性スタッフのみ

ライオンの森図書館 (絵本 200 冊以上)

無料講習／LINE 査定 (Senka Okinawa)

— 業務が変わる、経理が変わる。 —

クラウド会計の スマート仕事術

【クラウド会計のスマート仕事術 全4回】

- 第1回：クラウド会計を活用する意義
- 第2回：マネーフォワード会計の自動仕訳ルール活用法
- 第3回：freee会計の自動登録ルール活用法 **基本編**
- 第4回：freee会計の自動登録ルール活用法 **応用編**

freee 会計では、「自動登録ルール」を使うことで、毎月発生する仕訳を自動化できます。

まずはここから！基本の自動登録ルールを設定してみましょう

いきなり全部完璧にやろうとしなくても大丈夫。まずは、よく使うものから設定してみるのがおすすめです。

▶ 「キーワード」で自動分類

例えば、クレジットカードの明細に「タクシー」と書いてあったら「旅費交通費」に、「手数料」とあったら「支払手数料」に、といった具合に、明細のキーワードで取引登録を自動化できます。

▶ 「このお店」からの支払いはコレ！

いつも行くスーパーやコンビニ、ガソリンスタンドなど、特定の取引先への支払いは、自動で「消耗品費」や「車両費」に設定しておくことができます。

▶ 「この金額」ならコレ！

明細の条件に金額の条件も組み合わせ、例えば、家電量販店で購入した 99,999 円以下のものは「消耗品費」にするといったルールも作れます。

具体的な使い方

1. 自動登録ルールを設定する

「自動で経理」から取引を登録する際に、「詳細」ボタンをクリックし、取引の登録内容を入力した後、「自動登録ルールとして設定する」にチェックを入れてから「登録」します。

2. 自動登録ルールの設定画面で詳細を入力

「自動登録ルールとして設定する」にチェックを入れて「登録」すると、自動登録ルールの設定画面が開きます。そこで、

- ・自動登録を適用する条件
- ・上記の条件に一致した時に行う処理

を入力し「作成する」をクリックします。

条件に一致した時に行う処理は、はじめは「取引を推測する」を選択すると安心です。

3. 次回以降の「自動で経理」で自動反映！

freee 会計が同じ条件の取引を自動で判定し、処理を推測してくれます。

▶ 詳しくは freee のヘルプページをご確認ください。 [freee ヘルプセンター](#) > [freee 会計](#) > [入力効率化](#)

次回は、freee 会計の自動登録ルール応用編をご紹介します！



税が変わると、暮らし、ビジネスが変わる

税の新常識アップデート講座

今月の
テーマは…

番外編 /

経理資料のご提出、こうしていただけると助かります

はじめに

いつも経理資料をご提出いただきありがとうございます。「これってどう出せばいいの?」「ここまでやった方がいいの?」と迷うことがあるのではないのでしょうか。

また、経理をスムーズかつ正確に進めるためには、皆さまからご提出いただく資料がとても重要です。

今回は、私たちがどのように資料を処理しているかを簡単にご紹介しながら、「こうしていただけるとありがたい!」というポイントをお伝えします。

経理資料、実はこのように処理しています

紙資料でお預かりした場合、まずお客様ごとに「受入記録」をつけています。その後、すべての紙資料をスキャンしてデータ化を行っています。

共有ドライブでお預かりしている場合は、入力担当者が資料をダウンロードします。

入力担当は、そのすべてのデータ資料を元に、モニター 3 画面を使ってペーパーレスで入力作業を行っています。

紙資料を提出していただく時のお願いポイント

- ▶ 資料が多い場合、バラバラにならないようにクリップ留めをお願いします
(通帳の口座ごと、カテゴリごと等)
- ▶ 紙への貼付け、ホチキス止めはご遠慮ください (すべてスキャンをします)
- ▶ 内容がわかりづらいものはメモ書きがあると質問のやりとりがなくスムーズです
例: 「飲食代」「贈答品」など
- ▶ プライベート支出の混在がないようお願いします (判断に迷うときはお尋ねください)

紙資料の提出には「資料回収キット」をご活用ください

提出書類一覧と仕切りをセットにした「資料回収キット」を運用しております。必要書類の明確化や入れ忘れ防止となり、スキャン業務の効率化にもなります。ぜひご利用ください。

おわりに

今回は、紙資料のことを主にお伝えしましたが、インターネットバンキングやクレジットカードとの自動連携が非常に便利で、入力作業も効率化されます。また、クラウド会計ソフトのシリーズ間での連携も一元管理できるのでおすすめです。

Point

資料提出のひと手間が、私たちの処理スピードと正確性に影響し、その結果お客様への試算表の提出もより早く、精度の高いものでお返しできるようになります。
引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。



pick up

DIGグループ本社オフィスを増床リニューアルしました！

2025年7月、本社オフィスを増床リニューアルしました！
従業員数が過去4年間で1.5倍に拡大する中、業務・組織の複雑化と多様性の高まりに対応するため、新たなオフィス設計を進めてきました。

これまでも、下記のようにオフィス環境の継続的な改善を図ってきました。

2021年11月 現：天神事務センターから本社移転
2023年 4月 執務室リニューアル
2023年11月 セミナールーム新設
2024年 4月 天神事務センター刷新



今回の増床では、光あふれる執務室の拡張に加え、中規模会議室や個人ブースの設置、さらにファミレス席の整備など、多様な働き方を自在にかなえる空間を実現しております。壁面グラフィックや素材の選定にもこだわり、自社らしいデザイン性を持った「自慢したくなるオフィス」を完成させました。



オリジナルTシャツやポロシャツの展示コーナーもあり、グループの歴史を感じられる空間です。

これまでのオフィスリニューアルに込めている理念は「人を大切にする」という変わらぬ理念。チームで集い、静かに集中し、気軽に語り合う。どの瞬間も前向きなエネルギーで満たされる職場であることを目指しました。多様性を尊重し、一人ひとりが心地よく、自由に挑戦できる環境がさらなる成長を生み出します。





free Advisor Day 2025（福岡・大阪）で 弊社代表の小西が登壇しました

クラウド会計を軸に、士業・会計事務所の未来をともに描くことを目的に開催された、free 株式会社主催の国内最大級イベント「free Advisor Day 2025」にて、当グループ代表社員・小西慎太郎が福岡会場および大阪会場の両日で登壇いたしました。

「日々、革新し続ける。DIG グループのこれまでとこれから」をテーマに、DIG グループにおけるクラウド会計を基盤とした業務の標準化、人事制度や組織づくりの歩み、そして今後の事業展開についてお話しさせていただきました。

当グループは、マネーフォワードクラウドの導入実績において九州 No.1 を誇りますが、実は free 会計も創業当初から一部導入しており、長年にわたり併用してきた背景があります。2024 年秋には、free 認定アドバイザー 5 つ星を取得していた税理士法人 Beso との経営統合を実施し、free との結びつきは一層強化されました。

クラウド会計ソフトを活用したワンストップサービスの提供は、業務効率化にとどまらず、お客様の経営判断の迅速化や組織全体の生産性向上にも大きなメリットをもたらします。

各会場には弊社スタッフも出席し、free の活用戦略や同業他社様の事例などについて、学びを深める貴重な機会となりました。

DIG グループでは今後も、お客様の「ワクワクする未来づくり」に貢献するため、クラウドツールのさらなる活用や AX (AI Transformation) 推進を進めてまいります。



CEO の佐々木様と撮った写真です

Seminar

労務顧問は本当に必要? 顧問契約のメリットとは

- ▶開催日：2025年10月31日（金）
- ▶時 間：14:00~15:00
- ▶場 所：DIG税理士法人セミナールーム
(福岡市中央区天神 4-3-30 天神ビル新館 6F)

日頃より「労務顧問って具体的に何をしてくれるの?」「導入するメリットは?」といったご質問をいただくことから、実際のサポート内容や活用事例をもとに、顧問契約の意義や効果をご紹介します。

労務に課題感があるものの、何から始めるべきか迷っている企業様にもご参加いただきたい内容です。

また、セミナー後にご興味のある企業様には、弊社社会保険労務士法人の担当者との個別面談もご案内いたします。

ご参加をご希望の方は、お気軽に弊社の担当者またはDIG社会保険労務士法人までご連絡ください。



詳細・お申込みは
こちら▼



第2回「AIディグる会」

～みんなのAI活用をシェアしよう～

- ▶開催日：2025年10月10日（金）
- ▶時 間：18:30~20:00（開場 18:00）
- ▶場 所：DIG税理士法人セミナールーム
(福岡市中央区天神 4-3-30 天神ビル新館 6F)

先月号にイベントレポートを掲載しました「AIディグる会」ですが、好評につき2回目の開催が決定しました!

AIが著しく発展している今、AIを活用できるかどうかで、企業の成長スピードが大きく変わる、といっても過言ではありません。AIディグる会はAIを実際に活用している方はもちろんのこと、AI導入を考えている方、または導入したけど使いこなせていない方、みんなで活用方法や素朴な疑問を共有する場です!

そこで、LT会をもっと面白くするために、「こんな話ができるよ!」という登壇者さんと、「ちょっと覗いてみたい!」という参加者さんを広く募集します!



詳細・お申込みは
こちら▼



「DIG+7月号」アンケートご協力のお礼

「DIG+7月号」アンケートにご協力いただき、ありがとうございました!

「販売促進」や「人事制度」など、取り上げてほしいテーマのご要望や、「どのトピックも参考になった」といった嬉しいご感想をいただき、編集部一同励みになっております。

皆さまの声を今後の「DIG +」づくりにしっかり活かしてまいります。

ご回答いただいた方には、ささやかながらノベルティをお贈りしますので、お楽しみに!



読者アンケートのお願い

10月号アンケートからピックアップ

経営や業務に関して、最近気になっていること・困っていることがあればお聞かせください。

ご回答
フォームは
コチラ▶



「もっと読みたくなる DIG +」を目指しています!
ご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

ご回答頂いた方
みなさまに DIGグッズを
プレゼント!

